

# 進路だより



富岡特別支援学校  
移行支援部 No.2  
令和4年6月30日(木)

富岡特別支援学校では、児童生徒一人一人が発達の階段を一步一步上っていき、自分らしい生き方を実現することができるよう日々支援を行っています。6月の進路だよりでは、本校で学んでいる医療的ケアを必要とする児童生徒のことを中心に紹介します。

医療的ケアを必要とする児童生徒たちも、他の児童生徒たちと同様に、将来家庭だけでなく、様々な支援者から多くの支援を受けて生活をするのが考えられます。家庭以外の場所で過ごすことも必要となってくるので、様々な人に自分のことを知ってもらい、活動の場を増やしていくことが大切になってきます。そのために、学校では、担任などの身近な人からの関わりを受け止め、徐々に担任以外の人との関わりも受け止めることができるように、様々な職員に関わってもらったり、他のクラスの友達と交流したりする機会を設けるようにしています。

学習内容としては自立活動を中心に取り組んでいます。健康状態や生活リズムが安定するように、家庭や医療との連携をもとに教師が健康状態を把握しながら、学習環境を整えています。教師と一緒に手足を動かして活動したり、教材に触れたりする中で、興味をもてるものを見つけられるようにしています。表情や身体の動きなどで気持ちを表せるように、教師や友達とのコミュニケーションの中で、表情や身体の動きなどを受け止め、気持ちを読み取るようにしています。

学習の途中で医療的ケアが必要になった時には看護師さんの出番です。看護師さんは、常に児童生徒の心に寄り添う医療的ケアを行っています。吸引が必要になった場合には、ちょうどよいタイミングを考えながら「吸引するよ。」と声をかけ行うなど、安心してケアを受けることができるようにしています。このような支援者との関わりの積み重ねが、他者への信頼感や自分の身体への肯定的な自己像を育てることにもつながるのではないかと考えています。

将来、多くの人に囲まれ、安心して自分らしく過ごしていることを願い、支援者や友達との関わり中で、一緒に活動する体験を増やしていけるよう工夫しながら活動を設定しています。



## ○福祉事業所の紹介

「社会福祉法人 榛桐会 ゾーン・サポートきぬの郷」 富岡市一ノ宮字小塚 536-3

身体障害のある方が、地域社会においてその人らしい日常生活を営むための支援を行っている福祉事業所です。生活介護事業所や放課後等デイサービス、児童発達支援センターといった福祉サービスを提供している「多機能型通所支援事業所 まゆ」、サービス利用時や何か困った際に相談ができる「相談支援事業所 糸ぐるま」などがあります。まゆでは、音楽や創作、リラクゼーションといった活動に取り組んだり、入浴介助や理学療法士を含めた職員による訓練的活動を行ったりしています。

